

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人湖東学園
専門学校湖東カレッジ唐人町校

1 学校関係者評価委員

種別	所属	役職
企業等委員	経済情報出版社	代表（会長）
学識経験者	短期大学	教授
保護者委員	元公立学校	教諭
関係者委員	幼保連携型認定こども園	指導員

2 学校関係者評価

基準1 教育理念・目標

※4段階評価

	評価項目	学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.8	4.0
②	学校における職業教育の特色が明確であるか	3.9	4.0
③	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.7	3.8
④	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	3.3	3.5
⑤	教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.8	4.0

○評価委員からの意見・指導

未来に生きる有為な人材、豊かな人間性と創造性を備えた人材の育成という教育理念は、職業教育を要とする専門学校の教育理念としてふさわしいものである。業界のニーズに応じる人材の育成が行われている。社会の変化や未来社会に目を向けた教育目標や教育方法などを、絶えず再構築していく必要がある。保護者会等、保護者との連携をもう少し進める必要がある。

基準2 学校運営

	評価項目	学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	学校運営方針を明確に把握しているか	3.7	3.8
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.8	3.8
③	人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.5	3.8
④	意思決定システムを把握し、それに基づいた運営に従事しているか	3.3	3.7
⑤	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1	3.5
⑥	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.6	3.7

○評価委員からの意見・指導

学校運営方針は確かなものであり、これを職員にさらに周知・徹底して「理解に基づいた職務の遂行」となるような取組が求められる。また、事務は、円滑に進められており、業務の効率化も着実に進められている。風通しの良い職場作りを一層進めていただきたい。

基準3 教育活動

	評価項目	学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.7	3.8
②	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8	4.0
③	学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8	4.0
④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.8	3.9
⑤	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	3.9	4.0
⑥	授業の自己点検、授業研究、相互授業などを実施しているか	3.3	3.5
⑦	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8	3.8
⑧	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9	4.0
⑨	教員の能力開発のための研修等が行われているか	3.0	3.3
⑩	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.3	3.5
⑪	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.3	3.5
⑫	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.3	3.8

○評価委員からの意見・指導

教育理念や学科の目標に沿った教育課程となっている。将来、就業する職場と連携し、職場と交流する機会が多く設けられており、実践力を向上させようとする意図が見られる。

就職先から、卒業生の客観的な評価を受け、課題の再発見を行うと効果的である。

学校生活が教室に限られがちなので、学園の施設を活用して学外研修を行うと、学生の体験や交流の幅が広がるとともに、高校生へのアピールになる。

学生が、もっと社会に目を向け、未来社会を担う子どもを育てるという意識を高めたい。

基準4 学修成果

	評価項目	学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	就職率の向上が図られているか	3.9	4.0
②	資格取得率の向上が図られているか	3.7	3.9
③	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.3	3.5
④	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3.5	3.5

○評価委員からの意見・指導

こども学科、こども未来学科の就職率は、ほぼ100%の良好な状態である。国際ビジネス科も就職希望者全員の進路が決定し、良好である。卒業後の状況を把握し、教育内容、方法の更なる改善が行われるとよい。

学生は、意欲的に学んでいる。欠席しがちな学生への対応も良く行われているが、より効果的な対応を検討し、脱落する学生を減らすよう、一層の努力が求められる。

基準5 学生支援

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8	4.0
②	学生相談に関する体制は整備されているか	3.8	3.8
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.7	3.8
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.5	3.8
⑤	学生の生活環境への支援は行われているか	3.6	3.8
⑥	保護者と適切に連携しているか	3.3	3.5
⑦	卒業生への支援体制はあるか	3.3	3.5
⑧	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.3	3.5

○評価委員からの意見・指導

進路、就職支援は、しっかりと行われている。個別の面談や日常的な相談体制により、学生一人一人を理解し、寄り添う姿勢が見られる。卒業生からの要望を把握することで、現行の体制の見直しが進むと思われる。

基準6 教育環境

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.0	3.5
②	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.9	4.0
③	防災体制は整備されているか	3.7	3.8

○評価委員からの意見・指導

学生や教員の要望を聞き、施設の充実を図りたい。図書の蔵書を学生にアピールし、積極的な活用を図る必要がある。

基準7 学生の受け入れ募集

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	3.7	3.8
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.6	3.8
③	学納金は妥当のものとなっているか	3.9	4.0

○評価委員からの意見・指導

熊本出身で、県外の保育専攻の学生が、湖東学園を知らない例が多く、積極的なアピールが望まれる。アピールできる点がたくさん有り、募集要項にできるだけ盛り込むとよい。学生を増やす余地は多く、効果的な

募集策を学内で検討したい。

基準 8 財務

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.3	3.5
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5	3.7
③	財務について会計監査が適正に行われているか	3.7	3.8
④	財務情報公開の体制整備はできているか	3.7	3.8

○評価委員からの意見・指導

現在のところ、財務基盤は安定しているが、コロナ禍により留学生の入学が少ないこと、今後一層少子化が進む中で、他校に無い魅力を打ち出し、学生を確保する必要がある。財務状況を全職員で共有し、改善すべき点を検討する必要がある。

基準 9 法令等の遵守

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	3.7	3.8
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.7	3.9
③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.4	3.6
④	自己評価結果を公開しているか	3.5	3.8

○評価委員からの意見・指導

個人情報の保護や各種ハラスメントに関する知識を映像等により職員・学生で共有し、意識をさらに高める。自己評価の結果はHPにて公表しており、職員間で課題を共有し、協働して解決していきたい。自己目標にとどまらず、第三者評価を行って、客観的な見直しを行うことも検討すべきである。学生による評価も検討する必要がある。

基準 10 社会貢献・地域貢献

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.8	3.7
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.2	3.6
③	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.8	4.0

○評価委員からの意見・指導

学校施設を地域に開放するなど、地域に根差した学校となっている。職業訓練校と連携した取組が進み、受け入れる学生数も増加している。学生が貢献できるボランティアの機会を提供し、取り組むことが必要である。職員の専門性を生かした公開講座等を実施し、湖東カレッジをアピールしたい。